

美術 II

教科のねらい

芸術の幅広い活動を通して、生涯にわたり芸術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

美術 II	単位数	2 単 位
-------	-----	-------

1. 学習の到達目標

学習の到達目標	1. 美術の幅広い活動を通して、美術を愛好する心情を育てる。 2. 美術作品の表現や鑑賞を通して感性を高める。 3. 美術の基礎に基づいて作品制作などの諸能力を高める
使用教科書	高校生の美術 2 (日本文教出版)

2. 学習計画および評価方法

学期	月	学 習 内 容	学 習 活 動	時 間	70
1	4	オリエンテーション	・年間の授業の進め方、学習方法を説明する	1 時間	25
	5	人物写真を使った作品 ～透明水彩絵具使って～	・人物写真のトレースを使い、下絵を制作し、水彩技法の特徴を理解しながら人物画制作を行う。基本的な描写力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	15 時間	
	6 7	造形工作 ～アイデアを形に～	・スタイロフォーム、石粉粘土を用いながら、自分の想像する架空の生き物を立体作品で表す。基本的な造形力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	9 時間	
2	8	造形工作 ～アイデアを形に～	・スタイロフォーム、石粉粘土を用いながら、自分の想像する架空の生き物を立体作品で表す。基本的な造形力を養い、対象の見方、捉え方、表し方が作品制作で出来ている。	9 時間	30
	9				
	10				
	11 12	絵本製作 ～メッセージを伝える～	・今まで制作で学んできた色面構成、レタリング、イラストレーションなどを使い、オリジナル絵本を制作する。製本も自分で行う。	21 時間	
3	1	なりきりんご ～魅力あるプレゼン～	・一人の作家を調べて、紙芝居形式を用いたプレゼンテーションを行う。	13 時間	15
	2	鑑賞	・様々な作品鑑賞を行いながら、自己の鑑賞力、感性を深めることができる。	2 時間	

[課題・提出物等]

水彩人物画、立体造形作品 (台座もセットで)、オリジナル絵本、プレゼンテーション用紙芝居、各課題でのレポートなど。

[評価方法]

上記課題の提出作品の内容 (表現力、完成度、課題への理解度、技法習得状況) 興味、関心、意欲 (毎時間の取り組み) ・出席状況などにより評価する。定期考査は行わない。